



滿洲建築協會雜誌

第十三卷
第六號



社團法人滿洲建築協會發行

昭和十六年六月十五日發行(每月一、四、十五日發行)

ホロータイル

フェイスブリック

礦滓カッタ

舗道煉瓦

スクラッチタイル

カッタタイル

機械製煉瓦

普通煉瓦

專賣特許
鐵筋煉瓦

營口煉瓦製造所

大連工場

大連市管内西山會三春柳一

電話九〇九七番

周水工場

大連市管内周水屯周家屯

大連出張所

大連市越後町二八

電話三九〇五番

馬車配給所

大連市財神街三

電話七七五八番

滿洲建築協會雜誌

第十三卷
第六號

目次

卷頭圖版

大連神社

本文

滿洲に於ける新興建築に待望す……………會長岡大路…(1)

支那古代建築のイルミネーション……………田中國益…(3)

寒熱の絶縁と騒音、濕氣防止材料纖維板トマテックス

に就いて……………王子製紙株式會社
代理店三和商會 蛙間信清…(4)

滿洲に於ける新興住宅建築に關する一考察……………桃源冠者…(12)

新材料と改良構造法……………(16)

Lawrence Kocher

Albert Frey

大連神社社殿御造營工事概要……………(27)

“最小働の原理”による架構解法の一算例……………五葉會同人…(31)

故久留弘文氏……………(40)

弔辭……………會長岡大路…(41)

弔辭……………高岡久留工務所 高岡又一郎…(42)

故久留君の思ひ出話……………保田虎太郎…(44)

故伊藤清造先生の事共……………田中國益…(48)

會報……………(50)

特別會報

編輯後記……………目次裏

表紙……………草野氏

— 編輯 後 記 —

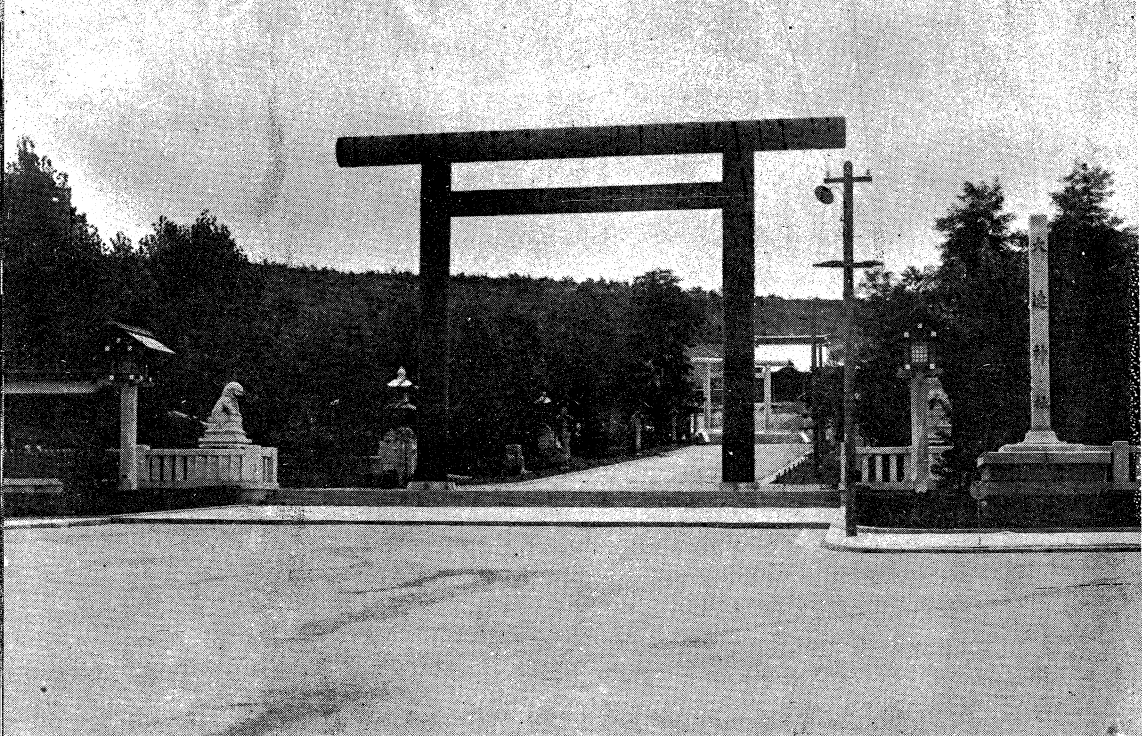
□今年こそは—との氣込も逸疾く裏切られて此の遅延さ！何とも面目ありません。八月中にはきつとりかへしたいと、世は夏枯の倦怠期でも、編輯部のみは七月、八月の編纂に構へて汗だく！

□次號は恐らく「滿博グラフ」でお目見えの事かと存じます、大滿博——白雲山下の奇觀、否偉觀を一帖の中に納めて先づ本會のホトサービスのスタートを切らうとしてゐます。

□本號は五月四日物故されました本會創立の功勞者たる故久留弘文氏に對し、爰に追悼會當日の本會代表と組の代表との弔辭に併せて故人と格別深交のあつた保田氏の追悼文を掲げて聊か故人を追憶するよすがともし亦弔慰とも致し度いと考へました。故人の遺影は本協會創立記念の生活改善建築展發會式當日の記念撮影の中よりとつたものです。

□編輯部主査村田博士は一箇月餘考古學調査團の一行に加つて東京城趾の發掘調査に携はつて居られましたが、匪賊襲撃の噂を餘所に無事元氣で歸任、最近の委員會に出席されました。その中何等かの御執筆も願へる事と樂しむで居ます。

□炎暑酷熱今を酣折角各位の御清健をお祈申上ます。



大連神社參道・一 / 鳥居